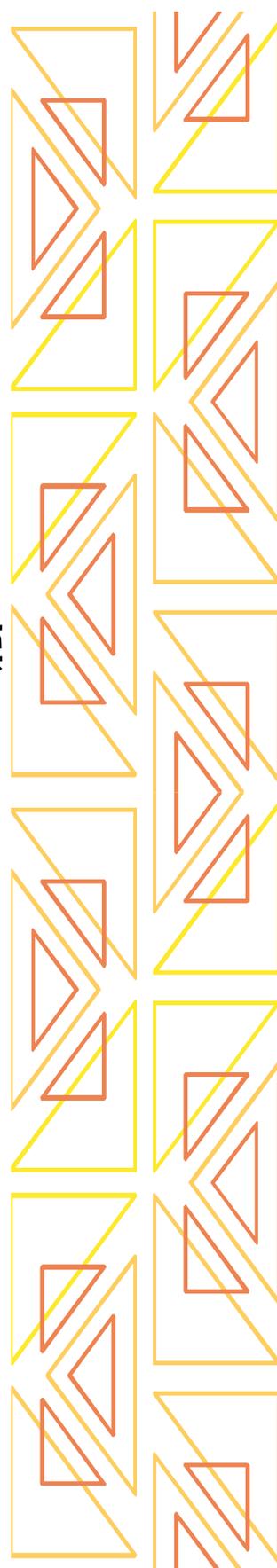


### 第3章 全体計画の理念と目標



## 第3章：全体計画の理念と目標

### 第1節 計画の基本理念

#### 誰もが健康で楽しめる生涯スポーツ社会の実現

本計画では、子どもから高齢者や障がいのある人を含め、あらゆる人々のスポーツニーズに対応した施策を推進し、市民全体の意識の共有と取り組みにより、生涯を通してスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

市民一人ひとりがスポーツを「する」「みる」「ささえる」楽しみなど、それぞれの年齢やライフスタイルに応じた主体的なスポーツ活動を基本とします。

### 第2節 計画が目指す将来の姿

#### 「する」「みる」「ささえる」 市民一人ひとりの趣向やライフスタイルに対応した スポーツ環境の実現

##### 誰もが参加できる「する」スポーツの推進

市民の生活に潤いをもたらすものの一つとして、スポーツが日々の暮らしに取り入れられるよう、誰もが気軽に参加できる機会の拡充を図るとともに、競技力の向上を目指します。

##### スポーツを「みる」機会の提供

プロスポーツや流通経済大学運動部の持つ高い競技力を通して、「みる」スポーツの魅力を高めるとともに、身近な人のスポーツ活動を応援する機会や場の提供などスポーツ環境の実現を目指します。

##### スポーツを「ささえる」人々の育成と活用

スポーツ指導者やスポーツボランティアの育成に取り組むとともに、青少年のニーズに応じたスポーツ環境の整備を目指します。

《数値目標の設定》

※数値目標の見かた



(1) 市内に少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを育成します。

総合型地域スポーツクラブの数 0 → 1つ → 1つ以上

- 【前回】・総合型地域スポーツクラブ(多種目、多世代、多様な技術レベル)がない。
- 【現状】・1つ(平成22年に総合型地域スポーツクラブとして活動をはじめた「NPO法人クラブ・ドラゴンズ」)
- 【参考】・全国の各市町村において、少なくとも1つは総合型地域スポーツクラブを育成。(平成12年 文部科学省「スポーツ振興基本計画」(目標年次平成22年))

(2) 16歳以上の市民のうち、65%(従前のスポーツ振興基本計画での目標値は50%)が週1回以上運動やスポーツを行うことを目指します。

週1回以上運動やスポーツを行う人の割合 39.0% → 43.2% → 65.0% (50.0%)

- 【前回】・週に1回程度(14.1%)・週に2~3回程度(15.0%)・ほぼ毎日(9.9%)  
(平成20年度 アンケート調査/16歳以上)
- 【現状】・週に1回程度(11.8%)・週に2~3回程度(18.6%)・ほぼ毎日(12.8%)  
(平成24年度 アンケート調査/16歳以上)
- 【参考】・週1回以上運動やスポーツを行っている。(44.4%)  
(平成18年 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」/20歳以上)
- ・週1回以上運動やスポーツを行っている。(45.3%)  
(平成21年 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」/20歳以上)
- ・成人の週1回のスポーツ実施率が50%となることを目指す。  
(平成12年 文部科学省「スポーツ振興基本計画」/目標年次平成22年)
- ・成人の週1回以上のスポーツ実施率が3人に2人(65%程度)、週3回以上のスポーツ実施率が3人に1人(30%程度)となることを目標とする。  
(平成24年 文部科学省「スポーツ基本計画」/目標年次平成29年)

- (3) 16歳以上の市民のうち、20%が市や各地域・町内会・PTAなどが主催するスポーツ行事に参加することを目指します。

運動やスポーツ活動のボランティア活動  
に参加したことがある人の割合 13.3%  10.2%  20.0%

【前回】・これまでに運動やスポーツ活動にかかわるボランティア活動をしたことがある。(13.3%) (平成20年度 アンケート調査/16歳以上)

【現状】・これまでに運動やスポーツ活動にかかわるボランティア活動をしたことがある。(10.2%) (平成24年度 アンケート調査/16歳以上)

- (4) 16歳以上の市民のうち、20%がスポーツクラブやチーム等の団体に加入できる環境づくりを目指します。

スポーツクラブ等に加入している人の割合 15.4%  18.5%  20.0%

【前回】・スポーツクラブやチーム等に所属している。(15.4%)  
(平成20年度 アンケート調査/16歳以上)

【現状】・スポーツクラブやチーム等に所属している。(18.5%)  
(平成24年度 アンケート調査/16歳以上)

【参考】・スポーツクラブや同好会に加入している。(15.3%)  
(平成18年 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」/20歳以上)  
・スポーツクラブや同好会に加入している。(16.2%)  
(平成21年 内閣府「体力・スポーツに関する世論調査」/20歳以上)

- (5) 16歳以上の市民のうち、10%がスポーツを直接観戦することを目指します。

スポーツを直接観戦する人の割合 8.7%  6.9%  10.0%

【前回】・直接観戦する。(8.7%) (平成20年度 アンケート調査/16歳以上)

【現状】・直接観戦する。(6.9%) (平成24年度 アンケート調査/16歳以上)

(6) 16歳以上の市民のうち、30%がスポーツ活動に関する情報提供に満足することを  
目指します。

スポーツの情報提供に満足する人の割合 16.8%  14.6%  30.0%

【前回】・今のままで良い。(16.8%) (平成20年度 アンケート調査/16歳以上)

【現状】・今のままで良い。(14.6%) (平成20年度 アンケート調査/16歳以上)

(7) 児童・生徒のうち、55%が体力テストで総合評価A又はBを目指します。

体力テスト総合評価でA又はBの  
児童・生徒の割合 52.0%  54.3%  55.0%

【前回】・総合評価A又はBの割合。(52.0%) (平成20年度 体力テスト)

【現状】・総合評価A又はBの割合。(54.3%) (平成24年度 体力テスト)

【参考】・茨城県の平成27年度目標値。(55.0%)

(平成24年度 茨城県「児童生徒の体力・運動能力調査報告書」)

### 第3節 基本施策

#### 1 地域におけるスポーツ機会の充実

生涯スポーツ社会「いつでも」「どこでも」「いつまでも」を早期に実現するための基盤的施策として、スポーツ指導者の養成・確保・活用、スポーツ情報の提供体制の整備など、市民のニーズに即応した地域スポーツを推進します。

#### 2 学校体育・スポーツ活動の充実

学校・家庭・地域が連携して、子どもが積極的に外遊びやスポーツに親しむ習慣や意欲を培うことにより、子どもの体力低下に歯止めをかけ、上昇傾向に転ずることを目指します。

#### 3 競技スポーツ力の向上

本市を代表して全国大会及び関東大会などにおいて活躍する選手や、より高度な日本代表クラスの競技力を有する選手の育成を目指して、スポーツ指導者とスポーツ団体が連携し、個人の特性や競技者の育成において最も重要なジュニア期における選手の育成強化を図ります。

#### 4 スポーツ施設の整備・充実と有効活用

既存施設の一層の活用と効率化を図るとともに、より適正な運営管理などについて、中・長期的な計画のもと検討・整備を進め、施設利用者の拡大を目指します。

#### 5 流通経済大学と連携したスポーツ施策の総合的推進（龍・流連携<sup>※1</sup>の活用）

本市と流通経済大学の間で締結した龍・流協定<sup>※2</sup>に基づき、健康・スポーツ界で活躍できる人材の育成、市民のスポーツ活動の普及・振興を図ります。

<sup>※1</sup> 龍・流連携……龍ヶ崎市と流通経済大学との連携の略称。本市では、特色あるまちづくりを目指し、まちの知的資源である流通経済大学と平成16年2月に協定を結び、教育・文化、スポーツ、産業、人づくり・まちづくりの分野において相互に協力し様々な取り組みを行っている。

<sup>※2</sup> 龍・流協定……平成16年2月に、龍ヶ崎市と流通経済大学との間で、教育・文化、スポーツ、産業、人づくり・まちづくりの分野で連携し、まちの活性化と大学教育の向上による共存共栄を図る目的から締結した協定。

第4節 施策の体系図

